

○子は父と同じように：イエス様が語る“五つの証言”

1. 子は父と同じように_____ (17-18)

※創世記 2:2

「神は第七日目に、なさっていたわざの完成を告げられた。すなわち第七日目に、なさっていたすべてのわざを休まれた。」

※ネヘミヤ 9:6

「ただ、あなただけが主です。あなたは天と、天の天と、その万象、地とその上のすべてのもの、海とその中のすべてのものを造り、そのすべてを生かしておられます。そして、天の軍勢はあなたを伏し拝んでおります。」

※コロサイ 1:16-17

「なぜなら、万物は御子にあって造られたからです。天にあるもの、地にあるもの、見えるもの、また見えないもの、王座も主権も支配も権威も、すべて御子によって造られたのです。万物は、御子によって造られ、御子のために造られたのです。御子は、万物よりも先に存在し、万物は御子にあって成り立っています。」

2. 子は父と同じように_____ (19)

※ヨハネ 4:34

「…わたしを遣わした方のみところを行い、そのみわざを成し遂げることが、わたしの食物です。」

※ヨハネ 6:38

「わたしが天から下って来たのは、自分のところを行うためではなく、わたしを遣わした方のみところを行うためです。」

※ヨハネ 8:28

「…あなたがたが人の子を上げてしまうと、その時、あなたがたは、わたしは何であるか、また、わたしがわたし自身からは何事もせず、ただ父がわたしに教えられたとおりに、これらのことを話していることを、知るようになります。」

「イエスについて、最も重要な真理は、彼のうちに神を見るということです。もし神が人に対してどのように感じておられるのか、罪に対してどのような態度を取られるのか、人の状況をどのように捉えておられるのかを知りたいのであれば、私たちはイエスを見なければなりません。イエスの考えは神の考えであり、イエスの言葉は神の言葉であり、イエスの行いは神の行いなのです。」(ウィリアム・バークレー)

3. 子は父と同じ_____ (20)

※ヨハネ 17:24-26

「父よ。お願いします。あなたがわたしに下さったものをわたしのいる所にわたしといっしょにおらせてください。あなたがわたしを世の始まる前から愛しておられたためにわたしに下さったわたしの栄光を、彼らが見るようになるためです。正しい父よ。この世はあなたを知りません。しかし、わたしはあなたを知っています。また、この人々は、あなたがわたしを遣わされたことを知りました。そして、わたしは彼らにあなたの御名を知らせました。また、これからも知らせます。それは、あなたがわたしを愛してくださったその愛が彼らの中にあり、またわたしが彼らの中にいるためです。」

※ローマ 8:38-39

「私はこう確信しています。死も、いのちも、御使いも、権威ある者も、今あるものも、後に来るものも、力ある者も、高さも、深さも、そのほかのどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちを引き離すことはできません」

※ヨハネ 15:23

「わたしを憎む者は、わたしの父をも憎んでいます。」

4. 子は父と同じ_____ (21-22)

※2 列王記 5:7

「イスラエルの王はこの手紙を読むと、自分の服を引き裂いて言った。「私は殺したり、生かしたりすることのできる神であろうか。…」

※創世記 18:25

「…全世界をさばくお方は、公義を行うべきではありませんか。」

※詩篇 7:11

「神は正しい審判者、日々、怒る神。」

※黙示録 20:11-15

「また私は、大きな白い御座と、そこに着座しておられる方を見た。地も天もその御前から逃げ去って、あとかたもなくなった。また私は、死んだ人々が、大きい者も、小さい者も御座の前に立っているのを見た。そして、数々の書物が開かれた。また、別の一つの書物も開かれたが、それは、いのちの書であった。死んだ人々は、これらの書物に書きしるされているところに従って、自分の行いに応じてさばかれた。海はその中にいる死者を出し、死もハデスも、その中にいる死者を出した。そして人々はおのおの自分の行いに応じてさばかれた。それから、死とハデスとは、火の池に投げ込まれた。これが第二の死である。いのちの書に名のしるされていない者はみな、この火の池に投げ込まれた。」

5. 子は父と同じ_____ (23)

「イスラム教徒やユダヤ人は、自分たちが礼拝する神に美しく壮大な称号を与えます。しかし、神の名がキリストから切り離されるなら、それは空虚な想像にすぎないことを、私たちは忘れてはなりません。」(ジャン・カルヴァン)

「あなたは選択しなければなりません。この人は昔も、今も神の子であるか、それとも狂人またはそれ以上に酷い何かか。彼を愚か者として黙らせ、悪魔として唾を吐き、殺すこともできます。あるいは、彼の足元にひれ伏して、主であり神であると呼ぶこともできます。しかし、彼が偉大な人間の教師だったというような恩着せがましい戯言を持ち出すのはやめましょう。彼は私たちにその選択肢を残さなかったし、そうするつもりもなかったのです。」(CS ルイス)